

■小野蘭山 本草学者。若年の「花彙」、晩年の江戸期最大の博物誌「本草綱目啓蒙」で、日本の植物学を世界に知らしめた。

おのらんざん

梅岩心学始・1729＝ 京都桜木町で主殿大允佐伯職茂の次男に生まれる。

享保大飢饉・1732＝ 3歳：

・・・・・・1738＝ 9歳：

中国の本草書「秘伝花鏡」を読み、

・・・・・・1741＝12歳：父の師であった松岡恕庵(玄達)に入門して、本草学を始め、

非常に記憶力がよく一度聞いたことは一生忘れなかったという。

徳川吉宗隠居1745＝16歳：

菅原伝授十・1746＝17歳：_恕庵が死去してしまったため、以後は、独学で研鑽につとめ、

義経千本桜・1747＝18歳：

それまでの本草学は中国から伝わった李時珍の著書「本草綱目」を元に作られ、日本固有の動植物などについては適していないことに気づいて、自ら日本固有のものを作ろうと、野山に分け入って調査、

徳川吉宗没・1751＝22歳：

薩摩藩工事・1753＝24歳：_京都丸太町に私塾{衆芳軒}を開塾して、多くの門人を教えるとともに、官職に就くことをも絶って、訳書と講義に専念、

・・・・・・1756＝27歳：

日本中から生徒が集まり千人を越える人間が巣立って行ったと言われ、飯沼慾齋・杉田玄白など多くの有能な研究者もでてゆくことになる。

大式政治批判1759＝30歳：*「花彙」の刊行を開始、

大岡忠光没・1760＝31歳：

・・・・・・1763＝34歳：*「花彙」8巻を完結。

蘭銭初輸入・1765＝36歳：

_のちに、オランダ語訳本が桂川甫周によりシーボルトに寄贈され、サバティエによるフランス語訳本がパリで出版されて、日本産植物が海外に紹介されることになる。

田沼意次老中1772＝43歳：

解体新書・・・1774＝45歳：

蘭学階梯・・・1783＝54歳：

田沼意次失脚1786＝57歳：

・・・・・・1788＝59歳：天明の大火で、私塾{衆芳軒}も焼けてしまったため、門人の吉田立仙の家に避難するとともに、門弟達も散り散りとなって、暇ができたのを幸い、自身の研究をまとめる著作の執筆をして過ごしたといい、「大和本草会識」「秘伝花鏡記聞」その他、多くの著作を遺している。

ワクスン来日・1792＝63歳：

松平定信引退1793＝64歳：

蝦夷地直轄始1799＝70歳：_幕府の招きで江戸に下り、医学館で本草を講じ始め、

伊能測量始・1800＝71歳：*幕命で、諸国に5回植物採集旅行を行ない、旅行ごとに採集記を幕府に提出。

宣長没・・・1801＝72歳：

アメリカ船来航始1803＝74歳：_本草講義を孫の小野職孝が筆記した「本草綱目啓蒙」の刊行を開始、

いげノ報復・1806＝77歳：*江戸時代最大の博物誌となる全48巻を完結。図はないが、自然物の方言も収録して寄与は大であり、のちにこの書を購入したシーボルトは、蘭山をして、「日本のリンネ」と賞賛している。

・・・・・・1810＝81歳：_没した。

NHK大河ドラマで話題の「牧野富太郎」の祖のような人物と言えよう。、

「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、「本朝医人伝」。Wikipediaで追補、